

第3部会(快適なまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
1	計画的な土地利用	全般	78	市北部、とりわけ加古川北インターチェンジ付近から平荘湖周辺については、交通利便性と自然環境の豊かさという立地特性を生かした、宿泊施設を整備することなどにより、大学生のクラブ活動の合宿を誘致することが効果的ではないか。 野球場の整備に力を入れ、多くの合宿誘致に成功している都市もあると聞く。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「市北部、とりわけ加古川北インターチェンジ付近から平荘湖周辺については、交通利便性と自然環境の豊かさという立地特性を活用し、にぎわいを生む機能の誘致を進められたい。」</p> <p>合宿誘致については、議事録に記載するとともにP99「6まちづくりの進め方④広域的なまちづくりの推進 ●交流人口、関係人口の創出・拡大」に関する主要な意見として、以下の内容で整理します。</p> <p>「交流人口、関係人口の創出のため、クラブ活動等の合宿誘致に向けた取組を検討されたい。」</p>	主要意見
2	計画的な土地利用	●産業系土地利用の推進	78	土地利用において、開発行為等による災害リスクについても留意しておく必要があるのではないか。	<p>原案を以下のとおり修正します。</p> <p>●産業系土地利用の推進 3段落目 「そのため、……各種制度を活用し、災害リスクを踏まえた新たな産業系土地利用の検討を進める必要があります。」</p>	原案修正
3	計画的な土地利用	●都市機能の適切な誘導と集積 ●産業系土地利用の推進	78	大型幹線道路の整備によるストック効果を産業だけでなく、地域全体の活性化に向けた取組につなげていく記載が必要ではないか。	<p>原案を以下のとおり修正します。</p> <p>●都市機能の適切な誘導と集積 2段落目 「人口減少、高齢化の進展による都市の低密度化が進みつつある中、市街地の拡散を抑制しながら、都市拠点等に適切な機能の誘導と集積を図ることが必要となっています。 そのため、都市基盤の整備によるストック効果を最大限引き出しながら、本市の地域特性を踏まえた、集約型都市構造化への転換に向けた取組が重要です。」</p>	原案修正

第3部会(快適なまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
4	計画的な土地利用	●産業系土地利用の推進	78	産業構造が変化する中で、若者の働く場をいかに創出していくかは、人口減少を抑制する観点からも非常に重要である。東播磨道が整備され、播磨臨海地域道路の計画が進む中、市街化調整区域においても、産業の拠点整備を行い、企業誘致を進めるべきである。また、誘致する業種については、工業に加え、拡大するeコマース(電子取引)に関連した物流センターが非常に有効である。企業がいつまでも存続できるものではないことを、行政はよく認識し、危機感をもって取り組んでもらいたい。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「地域の人口減少を抑制するためには、働く場の創出が不可欠である。東播磨道が整備され、播磨臨海地域道路の計画が進むこの機会を逃すことなく、産業拠点の形成に向け、危機感を持って、積極的かつ大胆に取組を進められたい。」</p> <p>※物流センターの誘致に関するご意見は、「活力とにぎわいのあるまち」における意見(No.9)で整理いたします。</p>	主要意見
5	都市拠点機能の充実	●都心・副都心の機能充実	80	東加古川駅周辺について、兵庫大学を中心にした教育文化のまちづくりを進めてもらいたい。今後のまちづくりに大学との連携は必要不可欠である。また、兵庫大学に農学部を設置を働きかけてもらいたい。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「今後のまちづくりには大学との連携は不可欠である。兵庫大学と連携し、東加古川駅周辺を教育文化のまちとして取組を進められたい。」</p> <p>※農学部設置に関するご意見は、「活力と賑わいのあるまち」における意見(No.2)で整理いたします。</p>	主要意見
6	都市拠点機能の充実	●都心・副都心の機能充実	80	本市は近隣市と比較し明らかに駅周辺のマンション立地が少なく、効率的な居住誘導ができていないと感じている。加古川駅周辺でも民有地に動きが出てきている中、行政としても総合計画に記載しているような機能誘導に取り組んでもらいたい。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「駅周辺の生活利便性を生かした効果的な居住誘導を行うことに加え、多様な都市機能の集積に向け取組を進められたい。」</p>	主要意見

第3部会(快適なまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
7	幹線道路・ 港湾機能の 充実	●東播磨港の 整備促進	81	港の本来の機能は、物流拠点として地域経済の活性化につなげるものである。安全で快適な港湾施設の整備、というよりも、地域経済を下支えする重要な施設である、という視点で記載することが望ましいのではないか。	原案を以下のとおり修正します。 ●東播磨港の整備促進 2段落目 「引き続き、 <u>地域の経済を下支えする</u> 、安全で快適な港湾施設の整備を促進することが求められています。」	原案修正
8	幹線道路・ 港湾機能の 充実	●東播磨港の 整備促進	81	東播磨港の防災対策について、わかりにくい場合具体例を記載。	原案を以下のとおり修正します。 ●東播磨港の整備促進 1段落目 「国の重要港湾の指定を受けている東播磨港については、 <u>防潮堤や陸閘(りっこう)等の施設について</u> 防災対策を実施してきました。」 ※陸閘(りっこう)・・・閉鎖することで海水の侵入を防止するとともに、開放することで堤防等の海側にある港湾、漁港、海浜等を利用するために人や車両等が堤防等を横断するようにする施設(国道交通省HPから引用)	原案修正
9	幹線道路・ 港湾機能の 充実	●幹線道路の 整備	81	幹線道路や港の整備がもたらす経済効果は非常に高い。東播磨道の北工区も完成が近づき、物流面だけでなく通勤利便性が大きく向上することが期待される。これは、県の北部から優秀な人材を本市に引き寄せるチャンスでもあることから、早期完成に向け取組を進めてもらいたい。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「幹線道路の整備は物流面だけでなく、通勤利便性の向上による人材確保にも大きな効果が期待されることから、早期整備に向け取組を進められたい。」	主要意見

第3部会(快適なまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
10	公共交通機能の充実	●コミュニティ交通の充実	82	姫路市や明石市と比べ、加古川市では学生のバス利用者が非常に少ないことが、経営の厳しさにもつながっている。一方で、乗務員不足については、企業の問題であることから、特筆する必要はないのではないか。	原案を以下のとおり修正します。 ●コミュニティ交通の充実 2段落目 「また、 交通事業者の経営状況 は厳しさを増しており、…」 ※「深刻な乗務員不足や、利用者減少に伴う」を削除	原案修正
11	公共交通機能の充実	●コミュニティ交通の充実	82	デマンドタクシーについては、効果が未知数であることから、導入に際しては先行事例をよく検討された方がよいと考える。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「デマンド方式については、先行事例をよく研究のうえ、効果的な取組となるよう検討を進められたい。」	主要意見
12	公共交通機能の充実	●コミュニティ交通の充実	82	北部や南部におけるかこバスやかこバスミニの充実も重要だが、市の中央部である国道2号線をはじめとした主要幹線道路においても、便数が少なく、不便であるため、対策を検討してもらいたい。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「今後ますます、公共交通の重要性は増加することが予想されるため、北部に加え、南部や中央部においても、さらなる充実を図られたい。」	主要意見
13	公共交通機能の充実	●コミュニティ交通の充実	82	自動運転については、先行自治体において多くの課題が見えてきている。現段階では運転士の同乗が必要であるため、導入によるコスト削減が実現するのはまだまだ先の話になると思われる。研究を進める際には、留意するべきである。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「バスの自動運転の実用化については、多くの課題が出てきている。実現に向けて研究を進める際には十分留意するべきである。」	主要意見

第3部会(快適なまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
14	防災・防犯のための基盤の整備	●総合的な治水対策の推進	83	防災に関する取組はハード整備だけでは限界があるため、P67に記載するソフト事業との連携を重視していく必要がある。 P83、P67ともに、近年の降雨状況や自然災害の状況を踏まえた、踏み込んだ記載をしてもよいのではないかと。	原案を以下のとおり修正します。 P83 ●流域治水対策の推進 「局地的な豪雨や台風による浸水などの被害が多発する中、河川や下水道の整備に加え、ため池や田なども活かし、流域全体で雨水の流出抑制を図る総合的な治水対策を推進することが必要です。」 P67 ●災害予防の推進 2段落目 「避難者の健康を守るため、避難所の適切な運営を確保することはもとより、地域主体の防災訓練の促進を図るとともに、新たな浸水想定に基づく総合防災マップを活用した出前講座などで避難所等の位置や避難経路について啓発し、非常時に適切な行動ができるよう、平時から市民の防災意識を高めるための支援が重要です。」	原案修正
15	基本目標2 政策 市民生活の安全・安心を確保する 施策 危機管理体制の充実	●災害予防対策の推進	67	避難行動要支援者に対する課題認識や今後の対応が読み取りにくいいため、補足してはどうか。	個別具体的内容であり、要支援者を含め、「非常時に適切な行動ができる」「平時から市民の防災意識を高めるための支援」として方向性を示しているため、原案修正は行わないこととし、 主要な意見として以下の内容で整理します。 「避難行動要支援者については、状況を把握した後、発災時に対応していくのが課題となる。地域と連携を深め、着実に取組を進められたい。」	主要意見
16	防災・防犯のための基盤の整備	●防犯基盤の充実	83	過去の東加古川駅の駅前広場整備において交番が南から北に移設にされた。駅南側に商業施設が立地する地域特性を鑑みれば、交番は南に立地していた方が効果的であったようにも感じている。防犯基盤の整備においては、警察と連携した取組を推進してもらいたい。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「防犯・交通安全の基盤整備においては、警察をはじめとした関係機関との連携のもと、取組を推進されたい。」	主要意見

第3部会(快適なまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
17	防災・防犯のための基盤の整備	●防災基盤整備等の推進	83	民間施設の危険ブロック塀対策については、周知・啓発を強化し、企業に対しては強く指導してもらいたい。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「地震発生時に倒壊するおそれがある危険ブロック塀については、点検・補修等について周知・啓発を推進し、必要に応じて対策を指導するなど早期対応にむけた取組を進められたい。」</p>	主要意見
18	生活に身近な道路の整備	●道路の整備・改良	84	加古川市は平坦な地形特性をもち、自転車利用がさかんである。安全な自転車利用に向けた空間整備や環境整備などの取組も有用と考える。現在取り組んでいる、あるいは、取り組もうとしていることがあれば、何らかの形で記載してはどうか。	<p>原案を以下のとおり修正します。</p> <p>●道路の整備・改良 1段落目 「狭あいな道路や踏切、また、自転車通行空間などの改良を進め、安全な道路空間の確保に努めています。」</p>	原案修正
19	全般			民間企業は常に最先端を追いかけ経営努力を続けないと淘汰され、立ち行かなくなってしまう。自治体運営における競争の原理は民間企業ほどではないかもしれないが、加古川のまちを大きく変えていく気概をもって、他市の効果的な取組をどんどん取り入れ、最先端を求め、発信してもらいたい。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「少子化、人口減少が進む中、未来の加古川市で、夢と希望を描くことができるよう、他市の効果的な取組を積極的に取り入れ、常に最先端を追い求める姿勢を示されたい。」</p>	主要意見

第3部会(快適なまち)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
20	全般			まちづくりは市民を巻き込んで進めていくことが重要である。市民は必ずついてきてくれるので、市から積極的にはたらきかけ、方針を示してもらいたい。	<p>主要な意見として以下の内容で整理します。</p> <p>「まちづくりは市民を巻き込んで進めていくことが重要である。市が方針を示し、積極的な働きかけを行うよう努められたい。」</p>	主要意見